

## 平成 28 年度の主な取組みについて

### I 安全・安心・納得の医療提供

#### 1 医療情報提供、医療相談体制の充実

- ①広報機能強化による本院の治療の特長、症例数、手術件数等の診療情報の提供の充実
- ②ホームページの充実(連携医療機関の紹介・検索システムの掲載・各科の症例数等の情報更新)
- ③総合診療外来による総合的視点から患者に応じた診療の実施
  - ・高齢化に伴う複雑かつ多岐にわたる疾病に対応するため、総合的視点から患者に応じた診療を行う体制整備（必要に応じて専門診療科に受診）
- ④がん相談支援センター、看護専門外来の3階への移設等、医療情報提供・相談機能の強化

#### 2 信頼される病院づくり

- ①医療安全体制の維持・強化
  - ・医療安全委員会、医療安全管理室を核として「医療事故防止対策マニュアル」に基づく医療安全の徹底と医療安全活動の継続実施
- ②医療関連感染制御の取組みの推進
  - ・感染対策部会、感染防止対策チーム等の体制を核として「感染防止対策マニュアル」に基づく感染防止の徹底と職員への感染管理教育の継続実施
  - ※平成 27 年度に引き続き、全職員は 2 回以上研修に出席することを義務付け
- ③個人情報の保護
  - ・病院職員、非常勤職員、委託職員を対象とした個人情報の取扱いに関する教育を継続実施
- ④利便性の向上
  - ・みなさまの声や医療サービス向上委員会によるアンケート（患者、職員）等を通して寄せられた意見をもとに、利便性向上の改善
  - ・職員の接遇などサービス向上

#### 3 医療スタッフの確保・資質向上

- ①医師の確保
  - ・関連大学附属病院医局に対する医師派遣要請
  - ・医師への助成
    - （学会出張費用及び参加負担金の助成、住宅の家賃助成（基準助成額 4 万円/月）
    - （救急勤務医・産科医確保のため、特殊勤務手当の支給）
- ②臨床研修医の確保 (※8 月末現在で 3 名の面接を実施 10 月末時点で 1 名マッチング)
  - ・医学生向けの病院説明会（レジナビ）に参加
    - 東京会場、金沢会場（予定）
  - ・医学生の実習（4～6 月）や見学会の受け入れ（随時）
- ③医師の負担軽減による診療充実
  - ・がん医師事務作業補助者の外来配置（内科・外科）
- ④看護師・医療技術者の確保

## ⑤職員の資質向上・キャリアアップ支援

## ・看護師育成事業

a 認定看護師の育成 認定看護師教育課程 **1名受講<緩和ケア>**

b 認定看護師の資格更新に係る負担金等の支援

11名<緩和ケア2名、皮膚排泄ケア、**がん化学療法看護2名**、感染管理2名、乳がん看護、  
がん放射線療法看護、認知症、慢性呼吸器疾患>・医療技術者育成事業 **放射線治療技師資格取得2名**

・各種指定病院として必須な資格の維持、資質向上のための研修会参加等の支援

・フォートウェン市パークビュー病院との医療交流

**(H28.10 来高は今年度が初めて ダスマン医師をはじめ9名)****II 地域に根差した医療の提供**

かかりつけ医や地域の医療機関等との機能分担を推進し、紹介による急性期患者の早期受入れや急性期を脱した患者の開業医や介護老人施設等への逆紹介を積極的に取組み、病病連携、病診連携を強化し地域完結型医療を目指す。

## 1 紹介・逆紹介の推進

## 2 病病・病診連携の強化

## 3 地域連携クリニカルパスの推進

## 4 地域支援機能の充実

## 5 専門外来の充実

## 6 予防医療の推進

## ①紹介・逆紹介の強化を含む地域連携の推進（紹介患者増加による新規入院患者の確保）

i **⑨「高岡市民病院連携医療機関登録制度」の創設による地域連携のさらなる強化**

※院長をはじめとした病院幹部職員による開業医訪問（高岡医療圏）

ii **⑩患者支援センターの設置（地域医療部の移設）**

iii「高岡医療圏地域れんけいネット」の活用の推進

## ②医療情報の提供等の地域医療機関に対する後方支援

i 症例検討会の充実

ii 各医療機関、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所などの各施設等との情報交換会開催

iii 地域連携クリニカルパスの推進を図るための研修会の開催

iv 戦略的な広報活動の充実

・高岡市民病院だよりの発行（3回予定：4月、9月、1月）

・医療連携懇話会の開催 **(7/7開催 47地域医療機関が参加)**

・病院案内(特徴)冊子の作成

## ③市民の健康増進等の予防医療の強化

i 健康講座、**出前講座の開催（H26：32件⇒H27：41件）**

ii 高岡市検診事業への継続参加

### Ⅲ 急性期・高度医療の充実

自治体病院として、政策的医療(救急、精神、結核、感染症)に引き続き取り組むとともに、高岡医療圏の中核的病院として、高度先進医療、急性期医療の強化に努める。

- 1 急性期救急医療の充実
- 2 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化
- 3 5 疾病への対策強化
- 4 感染症等に関する取組みの推進

- ① チーム医療のさらなる強化
  - ・ ㊦がんリハビリテーション・心臓リハビリテーションの実施によるリハビリの強化
  - ・ ㊦薬剤師の病棟配置（2 病棟）による薬剤管理の強化
  - ・ ㊦抗悪性腫瘍剤の投薬に対する薬剤師による指導の強化
- ② 病院群輪番制による二次救急病院としての救急患者の受入れ（新規入院患者の確保）
- ③ ㊦ 7：1 入院基本料の維持（重症度、医療・看護必要度 25%以上に向けた取り組み）
- ④ ㊦緩和ケア病棟の稼働・緩和ケア病棟入院基本料の取得
- ⑤ ㊦旧 3 階西病棟の改修による、がん医療の一元化に向けた包括的がん医療センターの拠点整備
- ⑥ ㊦外来化学療法室の拡充（旧 3 階西病棟）
- ⑦ ㊦認知症疾患医療センター設置に向けた取り組み
- ⑧ 緩和ケア研修会の開催（6 月 11 日・12 日）
- ⑨ 脳卒中・大腿骨骨折地域連携クリニカルパス運用
- ⑩ 糖尿病対策チームによる院内糖尿病教室
- ⑪ 糖尿病透析予防指導
- ⑫ 精神科救急情報センター事業、精神科救急輪番制度の参画

### Ⅳ 経営の安定

政策医療や高度先進医療等を安定的かつ継続的に提供していくために、自律性の高い健全経営に努める。

- 1 経営の安定に向けた職員の意識醸成
- 2 医業収益の確保
- 3 適正な職員配置と人的資源の活用
- 4 病院施設の改修・医療機器の更新
- 5 修繕計画の策定
- 6 薬品・診療材料の効率的運用と費用の削減
- 7 情報化の推進
- 8 一般会計繰入金の適正化の維持

- ① ㊦新病院改革プランの策定に伴う第Ⅳ期中期経営計画の改訂
  - ・ 平成 32 年度までの経常収支黒字化に向けた取り組みの見直し
  - ⇒ 本院は平成 29 年度以降の収支均衡を目指す。

- ②病院外部委員による経営懇話会の開催
- ・ 第IV期中期経営計画改訂（新病院改革プラン）に対する提言
- ③職員の経営意識の醸成のための、経営に関する講演会等の開催
- ④診療報酬加算の取得に向けた検討
- ⑤診療情報と経営データを統合した経営分析による、課題の洗い出しと対策の検討
- ⑥ **給食調理部門の民間委託化**
- ⑦ジェネリック医薬品の採用促進による薬品費の抑制
- ※平成 26 年度の診療報酬改定から新設されたD P Cの機能評価係数Ⅱ・後発医薬品係数に影響を与える**後発医薬品の使用割合 90%に向けた後発医薬品への置き換え促進**
  - ・ 後発医薬品係数…病院における後発医薬品の使用割合（先発医薬品からの置き換えた割合）を評価するもの
- ⑧物品管理供給業務システム(H26～H28)の導入による診療材料費等の縮減
- ・ 対象：診療材料、日用品、事務用品等
  - ・ 概要：定数管理品の消化払い(在庫ロス削減)方式  
価格交渉代行による報酬(値引き額の一定割合)方式
- ⑨計画的修繕の実施